

文化活動・交流の拠点

ふれあい倉庫「赤れんが6号」

【カルチャーホール】

ふくろうと遊ぶ 2012

「オオフジツボ七夜月 風と緑のコンサート」

▼日時 7月6日(金) 18時30分～

▼内容 ヴァイオリン、アコーディオン、ギターのトリオバンド、オオフジツボコンサート

▼料金

前売り：大人 2,000 円、中・高大生 1,000 円

当日：大人 2,500 円、中・高大生 1,500 円

▼チケット取扱所 ふれあい倉庫、FIKA

▼問合せ 坂本 (☎ 090 - 2873 - 3794)

ふれあい倉庫創業5周年祭

ふれあい倉庫は皆様に親しまれ、今年で5年目を迎えます。日頃のご愛顧に感謝を込めて、大創業祭を開催します。新鮮な野菜も盛りだくさん！

クッキングキャスターの星澤幸子先生をお迎えし、講演会も同時開催。詳しくは広報8月号に掲載します。

▼日時 8月12日(日) 11時～12時

▼講演者 星澤幸子

▼講演内容

「食して恋して夢を見て」

▼問合せ

ふれあい倉庫

(☎ 27 - 6600)



当別観光情報プラザ【FIKA】フィーカ

〔7月のギャラリー〕

そよ風に揺れる亜麻畑の風景

▼期間 7月1日(日)～27日(金)

▼展示者 笠井嗣夫

▼内容 亜麻フォトコンテストに選出された笠井嗣夫氏の亜麻の花の写真展です。

〔情報発信中！〕ふれあい倉庫とFIKAの情報は町民ポータルサイトのブログで随時更新していますので、ぜひご覧ください。

■町民ポータルサイト

<http://portal.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

▼問合せ ふれあい倉庫 (☎ 27 - 6600)

FIKA (☎ 27 - 5388) 商工課 (☎ 23 - 3129)

続

町長の日記

平成24年6月17日(日)

今日は私の75歳の誕生日で昭和12年、現在の弁華別小学校が落成した年に生まれたので、弁華別小学校を見る度に私は同級生のような気になる。

今では道内の木造校舎で最も古いものらしいから嬉しくなる。

青雲の志を抱いて数人の同級生と共に高等学校へ進学した15の春はもう60年も昔になった。

あの頃、当別は冷害と水害が交互に毎年のように続く中で遅く働き続けていた両親が大地に挑む心にえも言えない感銘を覚えていたから青山ダム着工の見通しがついた時に私は高校在学中だったけれどダムが出来たら将来に希望が持てたので農業を引き継ぐ決心をしていたのだった。

卒業後、青年団に参加したお陰で佐藤総理大臣や岸総理大臣など立派な方を近藤町長が当別町へお迎えされた時など間近に見て感じるものも多かったが、当別町開拓100年の大祝典で沢山の名士を拝見した翌年、父の三回忌の後、私は未熟な33歳で運命的に町議になってしまったのだった。

町議になって2、3年目に今も残念に思う事がある。それは東日本学園大学の問題だった。

当別に医療大学を誘致する時の町議会は町有林の払い下げなど収支の面の意見が多かった。

あの時、私はむしろ市街地に近い農地の転用をすべきだと言う意見を述べたが一蹴され結果的に現在の大学の所の町有林に決まったが、もし当別市街の近くに大学が建てたら今の医療大学の専任教員351人、事務職員137人、医療職員109人合計597人の大半は当別市街で暮らしているだろう。

更に、現在学生は750人くらいしか当別に住んでいないが、2,800人くらいの学生はもっと沢山当別に住んでいるだろう。

医療大学は学部増設等で学生が増えるから、今10階建ての校舎を建築中であるが、都会から電車でも1～2分で190種の植物が自生している広大な薬用植物園に入れる所は日本中でここだけだから札幌圏の人々は薬学部の堀田先生等が大地の生命エネルギーを育てた薬草の中を散策するだけで健康回復に繋がる体験ができることをもっとPRして商店街も学生にとって魅力ある街に変身してもらいたい。

大学誘致の時は若くて力不足だった点を取り返す為に頑張る後期高齢者の一人になりたい。

当別町長泉亭俊彦